

# Scouting IB araki Vol. 27

Mar. 2005

## スカウティング茨城



## つくばに3輪のユリが咲く！

### 2004年秋、つくば第3団が発団しました

2004年（平成16年）11月27日に、つくば第3団の発団記念式が行われました。

当日は、橋本副連盟長を初め多くの来賓の方々、そして第4地区の各団に加えお隣の牛久第2団と遠く千葉県連盟市原第7団からも多数のスカウトが参加して盛大



に行われました。つくば第3団は、ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊合わせて30名以上のスカウトがいます。式典が始まるとスカウト全員が少し緊張した面持ちで入場しましたが、ベンチャースカウトの岩村君が司会を務める中、ビーバースカウトを含め一人一人が最後まで主役を演じ続けました。

つくば第3団の指導者の多くは、つくば第1団でカブスカウト活動に携わってきました。つくば第1団は従来からスカウトの人数が大変多く、楽しく隊集会ができる一方で本来の組集会がなかなかできないため、スカウト一人ひ

とりの個性を十分つかみにくいと多くの指導者が問題意識を持っていました。このような中、昨年9月にウッドバッジ実修所に参加した指導者が中心になって、スカウトの人数は少なくとも組集会中心の活動を通じてスカウトの成長を見守りたいと強く思ったことが今回の発団へとつながりました。

これでつくば市には、つくば第1団、つくば第2団（旧荃崎第1団）に加えて3つ目のユリの花が咲いたこととなります。これからは、それぞれの団が特徴をだしながら地域にしっかりと根を張り、楽しいスカウト活動を続けて行ってくれることでしょう。



# 「心のキーホルダー」

日本ボーイスカウト茨城県連盟  
連盟長 關 正 夫

スカウトの皆さん、元気で楽しくスカウティングを進めていることと思います。

さて、過日、県内各団のすべてのスカウト・スカウターの皆さんに美しい「キーホルダー」が配布され、それぞれ隊長からその意義や使い方について、ご指導があったことと思います。

この「キーホルダー」は茨城県の代表54名の県議会議員の方々が、私どものボーイスカウト運動をバックアップするために、昨年6月1日に結成された「ボーイスカウト振興茨城議員連盟」からの記念プレゼントなのです。

しかし、このホルダーにつける

「キー（かぎ）」はありません。このかぎはどこにあるのでしょうか。そしてだれがつけるのでしょうか。私は、このホルダーをいただいた皆さん自ら「実践」というかぎを心の中につけることであり、そしてそのかぎは、スカウティングという運動の車を発進させるための「心のかぎ」であります。

私たちの運動の基本は「行うことによって学ぶ」という実践運動であります。このホルダーは物ですから、永い人生のなかでは失うこともあるでしょう。また、常に携帯するよう指導されても、忘れることもあるでしょう。しかし、心の中のかぎは忘れることもな

く、一生持ち続けることのできるかぎであると思います。

皆さん、ボーイスカウト振興茨城議員連盟の方々からの心のもったホルダーにしっかりと「実践」という心のかぎをつけて、スカウティングという車のエンジンに差し込んでください。

「日々の善行」運動も「自然体験」や「社会奉仕」などのように元気で楽しく走ってください。この姿が、私は「平和の斥候」スカウトの真の意味であると思います。

さあ、「心のかぎ」で元気に出発しましょう。

## ボーイスカウト茨城県連盟 「日々の善行運動」

「日々の善行運動」とは

ボーイスカウト運動のスローガンは「日々の善行」です。

「日々の善行」を再確認して、改めて社会に対して実践垂範する姿勢を示そうとするものです。

実施期間

平成16年度から3年間

実施方法（標準）

- ① スカウト活動時には、「日々の善行」の実践ごとにネッカチーフの端を結び直して自己確認する。
- ② 日常生活では、「日々の善行キーホルダー」を常に身につけておき、「日々の善行」の実践ごとに左右のポケットの間を移動させて自己確認する。



